

2022年春合宿 杓子岳双子尾根(2812m)

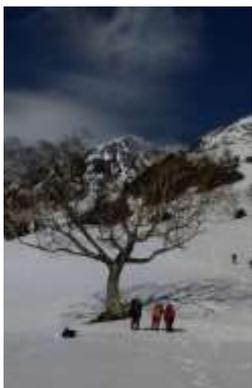
L 吉田秀、嘉村、佐藤、吉田文

5月3日(晴れ) 桐生(4時発)—前橋—猿倉駐車場(8時発)—小日向の科尔(10時40分着)—樺平(14時30分着) 2010m。

猿倉荘下の駐車場はまだ余裕があり案内人が誘導してくれた。ここで共同装備を分け、山荘でトイレを済ませて出発。スキーヤーやトレッカーのトレースが多数ありツボ足で進む。猿倉台地から小日向の科尔までは急登を進む。科尔で大休止。釜温泉方面へトレースもある。天気もよくここから双子尾根に取り付く。雪が少なく何箇所かブッシュを漕ぐと広々とした樺平に着いた。岩陰で風の当たらない場所にテント設置。我々のテント以外はひと張りも無い。ダケカンバ林の伸び伸びと自然にさらされた風景に感動。緑さん嘉村さんで天気と風速が判るアプリで調べると、風が夜から明日の午前中にかけて強いのを確認。明日は行ける所まで、とのことで3時半起床予定。夜半から風が強く、不定期にテントの周りを突風がふき、テントがあおられる。



5月4日(晴れ風強し) テント発(5時半)—奥双子の科尔(2274m) 6時半—最高到達点(2400m 手前ザイルが残置場所の下) 7時;ここでトレースも無く、風も強く引き返す。スキーヤーがここから滑った形跡が残る。—テント場(7時半) 撤収—出発(8時半)—長走沢下降(ここの沢は、スキーヤーが上り滑りに使っている沢で、上部の雪崩に注意して、休まず猿倉台地まで行く。1回、スキーヤーが滑って起こした、小さい雪崩に遭遇。)—猿倉台地(9時20分)—猿倉駐車場(10時20分)—白馬八方の湯—前橋—桐生(夕方)。



吉田文江記。